

2021年度 岡山県臨床細胞学会 総会 議事録

日時 2021年9月4日 15時10分～15時40分

会場 Zoomによるオンライン会議

報告事項

1. 2019-2020年度活動実績

1) 会計報告, 監査報告

2019年度は例年通り、2020年度はほとんど活動がなかったことが報告された。

2) 第39回学術集会 (2019年7月13日) (松川 昭博 会長)

2年前に予定通り実施されたことが報告された。

3) 第34回中国四国連合会 (2019年8月3日～4日 山口県 河野 裕夫 会長)

2年前に予定通り実施されたことが報告された。

2. 会員の動向

2021年8月26日現在の会員数は220名である。

(功労会員1, 専門医39, 医師5, 細胞検査士172, 臨床検査技師3名)

直近2年間の新会員

細胞診専門医(4名):

細胞検査士(20名):

3. 学会誌 (第38号) について

予定通り刊行されたことが報告された。

4. 2020年度、コロナ禍にて変更となった主な事項 (役員メール会議にて決定)

1) 第40回学術集会を2020年7月11日から、2021年9月4日に順延

2) 会誌は2年間の合冊とする

3) 年会費は2020年度と2021年度の2年間について1年分とする

2020年度中に退会した会員には希望に応じて返金する(2名に返金)

以上、コロナ状況下で役員メールのやりとりで決定した事項が確認された。

5. メールアドレス登録状況(2021年8月30日現在)

登録済み 207名、施設の共有アドレスを使用 1名、未登録 12名

未登録の会員には再三、登録を促していること、今回の学術集会に際してはQRコードを郵送で送付したことが報告された。かなり多くの会員に登録していただいているので、会誌の電子化、会費の減額も将来的に検討することが提案された。

協議事項

1. 2021年度役員について

庶務委員の舟田委員長が退職にてご辞退、日野委員が委員長に、佐藤委員が副委員長にスライドすることとなった。また、鐵原委員が退職にてご辞退、新たに有安早苗先生に加わっていただくこととなった。

役員メンバーの固定化、高齢化が進んでいること、また庶務・広報・会計の各委員会の業務がほとんどないことが提起された。そこで、来年の総会までに、以下のよう委員会再編とメンバーの大幅な入れ替えを行うこととなった。

- (1) 庶務・広報・会計委員会は廃止する。
- (2) 65歳を役員の定年とする。
- (3) 学術委員長、編集委員長は、半分程度の入れ替えを目処に人選する。
- (4) 来年の総会までに現在の委員で適宜話し合いをして案を取りまとめる。

2. 2021年度活動について

1) 2021年度予算案

予算案が提示されたが、学術集会の開催方法変更で差額が生じる見込みであることが報告された。

2) 第40回学術集会 (2021年9月4日 香田 浩美 会長 ZoomによるWeb開催)

3) 第35回中国四国連合会 (2021年8月21日～27日 徳島県 古本 博孝 会長 オンデマンド配信によるWeb開催)

3. 第41回学術集会について 川崎医科大学総合医療センター 物部泰昌先生

7月中旬に現地開催の予定であることが報告された。

4. 第42回学術集会について

会長を倉敷芸術科学大学 佐藤正和先生にお願いすることが確認された。

5. 第43回学術集会について

会長を倉敷成人病センター 大森昌子先生にお願いすることとなった。

6. 今後の役員会、重要事項の協議の方法について

適宜、メール会議やZoom会議で協議する方針が示された。

7. その他

編集委員会より、投稿規定を変更したことが報告された。